

令和8年第2回定例会一般質問

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
1	殿井 堯 (一問一答)	1. 新規に議会へ出席する副町長、職員の行政に対する意気込みとそれに対する期待を問う。	4月より新たに議会へ出席されることになった副町長、職員に対し、具体的な仕事内容およびそれに対する意気込みや取り組み方について問う。 町長には、新たに議会へ出席されることになった職員を含めた職員全般にどのような期待を持っているのかを問う。	町長 副町長 総務政策部長 担当部長 消防長 行政局長	40分
		2. 過疎地域におけるライドシェアの現状について問う。	令和6年第3回定例会で一般質問した「ライドシェア」について、当町における変化と現状を問う。	町長 総務政策部長 企画調整課長 行政局長	
2	椿原 竜二 (一問一答)	1. 地域医療・救急・介護連携について	高齢化や独居世帯の増加により、救急搬送や在宅医療、介護を取り巻く環境は大きく変化している。救急時の情報共有や介護現場の負担、ACP（人生会議）やDNARにおける本人意思の尊重などの課題も多い。そこで、救急搬送の現状と課題、情報共有体制、今後の地域医療・救急・介護連携の方向性について問う。 ①本町における救急搬送の現状と課題、独居高齢者などへの救急対応の課題認識は ②ACP（人生会議）やDNARに対する認識、また消防・医療・介護・行政間における情報共有体制は ③介護現場における救急対応の現場負担に対する認識、今後の地域医療・救急・介護連携の方向性は	町長 消防長 担当部長	60分
		2. ワカヤマソウリュウを活かした地域戦略について	ワカヤマソウリュウは、本町を代表する貴重な地域資源であり、教育、観光、地域振興など多くの可能性を持っている。これまで教育部を中心に発掘体験やイベントなどの取り組みが行われてきたが、今年度からは商工観光課が担当となり、観光や地域振興の視点を持った展開が進められている。一方で、町外から訪れた方々を町内周遊や消費、滞在、交流人口拡大などにつなげる仕組みは、まだ十分とは言えない。また、行政としての目的や方向性をより明確にする必要があると考える。 ①商工観光課へ担当変更となった経緯と狙い、また現在実施している化石発掘体験やイベントの実績は ②発掘体験などで町外から訪れた方々を町内周遊や消費、滞在につなげるための取り組みは ③今後の拠点整備を含めた中長期的な地域戦略をどう描いているのか	町長 副町長 担当部長	

No.	質問議員 氏名	質問事項		答弁を 求める者	発言 時間
3	谷畑 進 (一問一答)	1. 県道18号鏡石トンネル道完全開通のその後は	開通して早半年が過ぎようとしている。賑わいも最初だけかと半信半疑の所もあったが、先日、全線開通し、今日益々通行量を増している。県外ナンバーの車や、大型車の増加が目立ちます。そこで町、町長の考えを問います。 ・公衆トイレの設置は ・看板の設置はどうか ・塗装や草刈りの見回りはどうなったいるのか ・糸野徳田バイパスの進め方は ・町内の安全啓発をどう心得るか	町長 担当部長 消防長	30分
4	中島 詳裕 (一問一答)	1. 清水会館の取り壊しと機能移転について	旧清水町時代に建設されて60年余り経過するが、清水会館は、今日まで、地域の交流の拠点として様々な形で利用されてきた。施設の老朽化から雨漏りや館内設備にも故障が多く維持費もかさむことからその機能を隣接する清水保健センターに移行する計画とのことであるが、現在、どのような検討がなされているのか。	町長 副町長 担当部長	30分
		2. 過疎地域における公共交通機関の役割と施策として取り組んでいる移動支援の現状と課題について	現在町では、コミュニティバスの運行をはじめ みんなの定額タクシー、公共交通としてのバス・タクシー公共ライドシェアの運行などを実施しているが現在の利用状況や課題についてどのように考え今後取り組んでいくのか。	町長 担当部長	
5	井本 芳秀 (一問一答)	1. 過疎化対策と大々的な観光地化について	有田川町を思い切って観光地化する事こそが過疎化を食い止める最大の起爆剤だと信じています。提案したいのは、ツアーバスの呼び込み。大型バス1台は、マイクロバス2台で送迎します。休校施設を団体客が食事や体験を楽しめる場所にするのはどうでしょうか。お尋ねします。国内外からツアーバスを呼び込むような大々的な観光促進についてどういうビジョンをお持ちでしょうか。	町長	30分
		2. 山の自然を活かした公園づくりについて	町民の暮らしを良くすると同時に新しい観光客を呼ぶための自然を活かした公園づくりを観光の柱として進めて行くお考えはあるでしょうか。	町長	
		3. 神社仏閣やお地蔵さんなど町に眠る歴史の活用について	神社仏閣やお地蔵さんをただの古い建物ではなく、大事な観光資源として位置づけるお考えはあるでしょうか。	町長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
6	増谷 憲 (一問一答)	1. 公共交通の充実 について	1. 公共交通が果たしている交通権としての役割の認識は 2. 公共交通を担っている民間事業者の経営状況、人口減などのなかでの課題の認識は 3. 地域交通法における市町村の役割の認識は 4. 地域公共交通計画の策定はどうか 5. 具体策として、 ①町内の路線バスやタクシー、コミュニティバスなどの利用者の状況、令和元年度（人口も）と令和7年度（人口も）の実績は ②湯浅町や広川町で令和8年度から実施予定のタクシー分野への赤字補填策はどうか ③ドライバー確保と継続できる支援策は ④かつらぎ町で実施されている「かつらいど」の取り組みがよいのではないかと ⑤みんなの定額タクシー制度の見直し（金額など）はどうか	町長 担当部長	50分
		2. 子育て支援策に ついて	子育て支援と物価高騰対策の一環として、 ①入学時の支援金 ②制服、教材費、修学旅行への補助制度はどうか ③高校への通学費援助はどうか	町長 担当部長	
7	栗山 昌之 (一問一答)	1. 納税通知の集約 と証明書発行手 数料の推移と業 務量の推移	郵送料の高騰と町民への確実な配送と公平性（納税通知の受け取り時差）は コンビニ等の手数料と町民の利便性のバランスは、窓口業務の削減量は（件数）	町長 副町長 担当部長 担当課長	60分
		2. 災害助成金の返 還と回収につい ての検討結果は	令和8年3月18日の議会で一般質問をした「返還されていない補助金と利息」の対 応は。また、町の補助金交付要綱の修正は。	町長 副町長 担当部長 担当課長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
8	佐曾 永和 (一問一答)	1. 清水消防署の新築移転の進捗状況	清水消防署新築、移転の進捗状況はどのようになっているのか。	町長 消防長 担当部長	60分
		2. 条例定員71名は現在の状況では少ないか	現在の有田川町消防本部の業務形態を鑑みた時、複雑多様化する災害の対処に加え緊急援助隊の要請に対する国からの拠点機能形成車の配置による運用等で派遣要員、職員の知識技術の向上の為の研修、長期休暇等の補充要員、職員の特別休暇の取得等で条例定員まで早急に採用することは当然であるが条例定員の引き上げが必要でないか。	町長 消防長 担当部長	
		3. 使用不能となったモバイルバッテリーの回収について	モバイルバッテリー（リチウムバッテリー）の使用は日常生活においても普及している現在において使用不能となったモバイルバッテリーも多くなっている。安易に処分することは大変危険であり、全国的にもバッテリーが原因と考えられる火災、出火事案が多発している中、有田川町では不要バッテリーの回収をどのように取り組んでいるのか。	町長 消防長 担当部長	
		4. 有田養鶏農業組合債権回収について	債権者からの返済金の金額が一般常識を逸脱しており3月の一般質問での回答に金利がつくとの事であり、元金が増加するばかりで債権者は永遠に返済義務を負う事になり解決しているとは言えない。町長及び執行部はどのように考えているのか。	町長 担当部長	

No.	質問議員 氏名	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者	発言 時間
9	神山 裕介 (一問一答)	<p>1. 世界農業遺産の継承に向けた荒廃農地の再生について</p> <p>2. 中学校部活動の地域移行を見据えた地域スポーツ環境の整備について</p>	<p>昨年8月、本町を含む有田・下津地域の「石積み階段園みかんシステム」が世界農業遺産に認定されました。先人が築いた石積み階段園と産地の営みが世界に認められた一方で、これを将来へ守り継ぐ責務も負ったものと考えます。しかし、農業従事者の高齢化等により、放棄から年月を経て石垣が崩れ、もはや個人の力では再生が難しい「土木工事レベル」の荒廃農地が増えつつあります。世界農業遺産の保全という観点から、以下2点についてお伺いいたします。</p> <p>1. 再生が困難になった荒廃農地の再生に向けた取り組みについて 現行の支援制度では対応が難しい荒廃農地の再生に向けた、本町の取り組みと今後の方針をお聞かせください。</p> <p>2. 再生した農地を担い手へ確実に引き継ぐ仕組みについて 再生した農地を意欲ある担い手へ継承し、産地として維持していくための仕組みについて、本町の考えをお伺いします。</p> <p>国は、中学校の部活動を学校単位から地域全体で支える「地域クラブ活動」へ移行する方針を進めており、令和8年度からは「改革実行期間」に入っています。本町は子育て世代に選ばれるまちづくりを進めてきましたが、その子どもたちが中学進学後に地域でスポーツを続けられる受け皿は、十分とは言えない状況にあります。新たな施設の整備によらず、有田圏域の連携によって受け皿を整えていくという観点から、以下2点についてお伺いいたします。</p> <p>1. 部活動の地域移行に対する本町の現状認識と備えについて 国の改革が進む中、本町の現在の取り組み状況と今後の方針をお聞かせください</p> <p>2. 広域連携による皿づくりとそれを支える移動手段の確保について 有田圏域の連携による地域スポーツの受け皿づくりと、子どもの移動手段の確保について、本町の考えをお伺いします。</p>	<p>町長 担当部長</p> <p>町長 教育長 担当部長</p>	60分